

車両運行管理支援のための ETC2.0特定プローブデータ配信サービスのご紹介

運行管理の効率化やドライバーの安全確保等の取り組みを支援することを目的に、ETC2.0車載器※1を搭載した車両の運行管理を行う事業者等に、走行位置や急ブレーキ等の情報(ETC2.0特定プローブデータ)を提供※2します。

- あらかじめ当機構に登録いただいた車両に搭載されたETC2.0車載器から収集した特定プローブデータを提供します。
特定プローブ情報には、車両の走行経路、急減速箇所などの情報が含まれます。
- 車両にETC2.0車載器を搭載していれば提供可能です。
ETC2.0車載器以外の機器を車両に設置する必要はありません。

ETC2.0特定プローブデータの活用イメージ

- 走行位置の把握
車両が高速道路などに設置された路側機を通過した際に取得したデータを提供しますので、車両が走行中の位置を把握することができます。
また、目的地までの距離などを考慮して到着時刻の予測に活用可能です。
- 走行経路の把握
実際に車両が走行した経路を把握できます。予定経路との照合により、ドライバーへの指導強化や運行計画の改善などにつなげることが可能です。
- 運転日報の作成補助データとして活用
特定プローブデータから、車両が走行した経路や走行速度を把握でき、日報作成に活用することができます。
- 運転特性改善の啓発活動に活用
特定プローブデータに含まれる急減速箇所や走行速度に関する情報を用い、ドライバー毎の運転特性の評価が可能です。必要に応じて安全教育を行い、運転特性の改善につなげることができます。
- ヒヤリハットマップの作成による危険個所の抽出と注意喚起による危険回避
登録した各車両の急減速箇所データを集約することで、危険個所を抽出し、ヒヤリハットマップを作成できます。予定経路を変更したり、ドライバーへ案内することで、危険回避につなげることが可能です。

※1 ETC2.0車載器:「単独で動作するETC2.0車載器」と「ETC2.0対応カーナビと連動するETC2.0車載器」の両方を含みます。ETC2.0ではないETC車載器を搭載した車両については対象外です。

※2 ETC2.0特定プローブデータの提供:車両の使用者から配信対象として申込があり、当機構が国に登録した車両から収集したデータを提供します。未登録の車両からは収集・提供ができません。

ETC2.0特定プローブデータの内容と配信の流れ

【配信の流れ】

- ・走行中、ETC2.0車載器は、車両の位置や急ブレーキの情報を車載器のメモリに記録します。
- ・路側機は、通過する車載器からデータを取得します。
- ・路側機が取得したデータを国が収集します。
- ・当機構は、登録された車載器由来のデータを国から取得し、登録した配信先毎にデータを仕分けして配信します。

走行経路情報

概ね200m走行毎、および、右左折時にデータを追加

- ・時刻
- ・位置情報(緯度経度)
- ・走行速度 など

※道路種別や標高を記録可能なETC2.0車載器もある

急ブレーキ情報

所定の閾値を超えたときにデータを追加

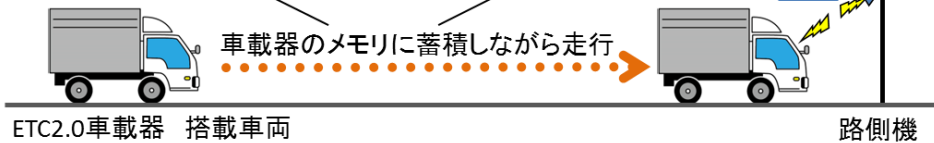
- ・時刻
- ・位置情報(緯度経度)
- ・走行速度
- ・急減速時の加速度 など

※急ハンドルなどを記録可能なETC2.0車載器もある

登録済みの車載器から取得したデータを登録者に配信

路側機は通過した車載器からデータを取得

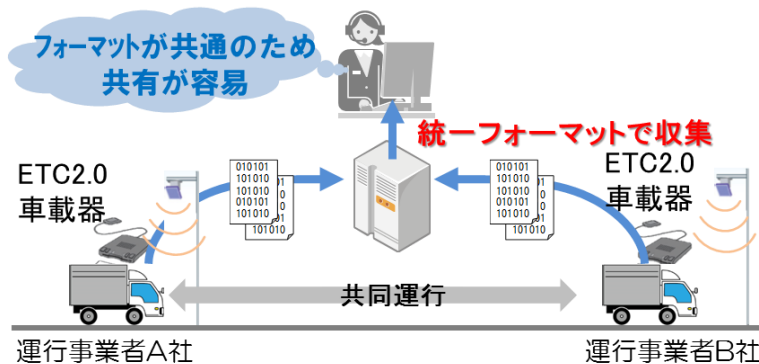
走行経路情報
急ブレーキ情報



ETC2.0特定プローブデータの特徴

- ・車両に必要な機器は、ETC2.0車載器のみ。既に搭載されているETC2.0車載器がそのまま活用できます。
※ETC2.0ではないETC車載器は本サービスの対象外です。
 - ・データフォーマットが共通のため、フォーマット変換を必要とせず共同運行や庸車を含む運行管理に活用可能。
- ※路側機を通過する頻度が低い場合、データに欠落が発生する場合があります。

ETC2.0特定プローブにおける情報共有化イメージ



活用イメージの例

サービス名	サービス内容
①位置把握	・最新の路側機通過時刻とそれまでの移動履歴を地図上に自動表示
②到着時刻予測	・「①位置把握」の情報に基づき、配送先等への到着時刻を予測する
③経路把握(運行計画改善)	・走行経路情報を蓄積し、曜日や時間帯による所要時間の変化の状況等を把握 ・更に、その結果を分析し最適な運行計画の策定に活用する
④日報作成	・プローブ情報を活用し、日報作成の一部自動化を実施する
⑤ヒヤリハット(安全運転啓発)	・プローブ情報(挙動履歴)により、急減速(急ブレーキ)多発箇所や運転手毎の発生回数等を分析し、安全運転指導に活用する

高速道路や直轄国道を走行する頻度が高い車両が対象となります。これらの走行頻度が低い場合、走行経路情報や急ブレーキ情報に欠落区間が生じたり、タイムリーな提供に支障が生じたりする可能性があります。

料金表

項目	内容	金額
配信料金	サービスの利用料金	月額150円/台
配信対象車両登録料金	対象車両の登録手数料	登録の際に500円/台

問い合わせ先:

(一般財団法人)道路新産業開発機構

『ETC2.0特定プローブデータ配信サービス』事務局
〒112-0014 東京都文京区関口1丁目23番6号

TEL 0120-552-907(フリーダイヤル)

電話受付時間: 平日10時から17時まで

E-mail haishin@hido.or.jp

詳細はホームページで御確認下さい。

<https://www.hido.or.jp/>